

第918回教育委員会定例会会議録

1 招集日時 令和元年5月17日（金）午後1時30分

2 招集場所 教育委員会会議室

3 出席者 伊東教育長，伊藤委員，齋藤委員，千木良委員，小室委員

4 説明のため出席した者

千葉教育次長，松本教育次長，布田参事兼総務課長，大町教育企画室長，小幡福利課長，中村教職員課長，奥山参事兼義務教育課長，伊藤参事兼高校教育課長，目黒特別支援教育課長，相馬施設整備課長，駒木スポーツ健康課長，嘉藤参事兼生涯学習課長，天野文化財課長 外

5 開 会 午後1時30分

6 第917回教育委員会会議録の承認について

伊東教育長 (委員全員に諮って) 承認する。

7 第918回宮城県教育委員会定例会会議録署名委員の指名，議事日程について

伊東教育長 伊藤委員及び千木良委員を指名する。
本日の議事日程は，配付資料のとおり。

8 秘密会の決定

5 議事

第1号議案 県立高等学校将来構想審議会委員の人事について

第2号議案 職員の人事について

第3号議案 宮城県いじめ防止対策調査委員会委員の人事について

第4号議案 就学支援審議会委員及び専門委員の人事について

第5号議案 宮城県特別支援教育将来構想審議会委員の人事について

伊東教育長 5 議事の第1号議案ないし第5号議案については，非開示情報等が含まれているため，その審議については秘密会としてよろしいか。

(委員全員に諮って) この審議については，秘密会とする。

秘密会とする案件は，8の次回教育委員会開催日程の決定後に説明を受けることとしてよろしいか。

(委員全員異議なし)

※ 会議録は別紙のとおり（秘密会のため非公開）

9 課長報告等

(1) 「大崎地区における高校の在り方検討会議」の報告書について

(説明者：教育企画室長)

「大崎地区における高校の在り方検討会議」の報告書について，御説明申し上げます。資料は，1ページから2ページと別冊である。はじめに，資料1ページを御覧願いたい。

1の趣旨であるが，県では平成31年2月に高校教育改革の方向性を示す第3期県立高校将来構想を策定した。構想において，県内7地区の今後10年間の方向性を示しているが，大崎地区については，3学級以下の高校が半数を占め，充足率が低い状況にあることから，今後の中学校卒業生数の減少を考慮し3ブロックに分けて学校の在り方について検討した上で再編等を進めることとしている。3ブロックとは，具体的に「旧古川市部ブロック」，旧田尻町を含む遠田郡と旧志田郡を範囲とする「東部ブロック」，加美郡と旧玉造

郡を範囲とする「西部ブロック」の3ブロックに分けて検討することとしている。このうち、まずは5校と所在する学校数が多く、小規模校かつ定員に対する在籍者数の割合が低い状況にある東部ブロックにおいて、今後の大崎地区において想定される生徒数の減少等を踏まえ、地域のニーズに応じた魅力ある高校づくりを推進するため、「大崎地区における高校の在り方検討会議」を開催し、高校の今後の在り方について検討を行った。このたび、検討会議の議論の状況を「大崎地区（東部ブロック）における高校の将来像」としてとりまとめたので、これを報告するものである。

2の検討会議の開催概要であるが、検討会議は、関係市町の関係者や、東部ブロックに所在する高校の校長及び同窓会等の代表者、地元中学校長やPTAの教育関係者等で構成され、各校の現状や地域において望まれる学校像を踏まえて高校の将来像について、5回にわたり意見交換が行われた。

資料2ページを御覧願いたい。3の「大崎地区（東部ブロック）における高校の将来像」の要点であるが、検討会議のまとめとして、少子化等の社会が変化する中においても、東部ブロックに所在する学校全体で学びの選択幅を確保し、職業人材を育成する。そして、現在、東部ブロックに所在する5校のうち、松山高校、鹿島台商業高校、南郷高校を再編し、涌谷高校、小牛田農林高校と合わせた3校体制とする。新設校に設置する学科については、既存校に設置されている専門学科及び学びを基本とした上で、併せて社会や地域ニーズに応じた新たな学科の設置も含めて検討する。この3点について意見集約が図られた。

なお、検討を継続する事項として、新設校に関する特色ある学科構成や学習活動など魅力ある高校づくりのための方策や、校舎を設置する場所及び開校時期、また、涌谷高校での福祉に関する学びの在り方について、そして、地域との連携については、県教委で継続して検討していくこととした。

最後に、4の今後のスケジュールであるが、これらの継続検討事項を検討した上で今年度中に第3期県立高校将来構想前期実施計画に反映させる予定としている。

本件については、以上である。

(質 疑)

伊 藤 委 員 資料2ページの「3(2)継続検討事項」に記載されている全ての項目が非常に大切なものであると感じている。これまで検討会議を5回開催されてきたが、その中でおよそその方向に意見が集約されつつあったのか。それとも対立する意見が多くて取りまとめが困難であったのかについて伺いたい。

教 育 企 画 室 長 基本的に参加された皆様からは、少子化の状況を避けることはできず、今後、こうした状況や傾向は続いていく中で、地域においてこれまで高校が果たしてきた役割や地域を担う人材を多数輩出してきたことについては十分に配慮してほしいという意見を頂戴したので、我々も最大限尊重しなければならないと考える。その上で、現状を踏まえると再編は言わば苦渋の決断であり、やむを得ないといった意見を多数いただいたことから、こうした集約結果となった。

齋 藤 委 員 伊藤委員の御意見や教育企画室長からの説明のとおり、この少子化の中では再編はやむを得ないと思う。新設校については、魅力ある高校づくりの方向性を長い目で見て、ぜひ良い学校を作っていただきたい。既存校の学科などもよく見ていただき、例えば涌谷高校の福祉に関することなどについても含めて、それぞれの学校が良い特色を出せるようにしてほしい。

教 育 企 画 室 長 検討会議において、松山高校の家政科の流れをぜひとも生かしてほしいであるとか、大崎地区は世界農業遺産に指定されたことから農業を大事にしてほしい、あるいは、醸造が盛んな地域性を考慮したら良いのではないのかといった意見もいただいた。こうした意見も検討の材料としながら、今後、学科あるいは設置場所についても検討していきたいと考えている。

(2) 旧宮城県教育研修センター跡地等の利活用に関する企画提案募集について

(説明者：教職員課長)

「旧宮城県教育研修センター跡地等の利活用に関する企画提案募集について」御説明申し上げる。資料は、

3 ページとなる。

旧宮城県教育研修センター跡地等利活用については、昨年度、外部有識者を含めた旧宮城県教育研修センター跡地等利活用検討委員会を開催し、方向性に係る提言をいただいた。この提言を受け、教育委員会として、民間活力を利用した特別支援学校高等部（いわゆる高等学園）の運営のために活用することとし、民間事業者からの企画提案を募集することとした。募集は、5月15日から教育庁教職員課ホームページに掲載し、開始している。参加申込期限は6月25日までとし、企画提案のプレゼンテーションは、7月17日を予定している。選考は、旧宮城県教育研修センター跡地等利活用企画提案事業者選定委員会において、書類及びプレゼンテーションの総合評価により審査し、事業候補者の決定は7月下旬を予定している。

本件については、以上である。

(質 疑)

伊 藤 委 員

企画提案募集の方法については、適切な方法であると思う。資料3ページの「1 募集開始日及び方法」に「教育庁教職員課ホームページに掲載」と記載されているが、この掲載画面に簡単にアクセスできるのであれば良いが、簡単にアクセスできないようであると、こうした企画提案に参加しようとしている方々に周知できない場合がある。このことから、ホームページの掲載については、できるだけ目立つようにして、県のホームページから優先的にアクセスできるようにしてほしい。また、知人や友人にも周知することにより、企画の主旨が県民の皆様や関心がある企業等に伝わりやすいと思う。

教 職 員 課 長

ホームページへの掲載については委員御指摘のとおり、目立つようにして広報したいと考えていることから、県教育委員会ホームページのトップにある新着情報に目立つように掲載するとともに、県のホームページにおいても新着情報に目立つように掲載している。また、幅広く呼びかけをしていくことについては、学校法人が応募の要件となっていることから、現在のところ県内の私立学校の関係者への情報提供を行っているが、こうしたところも含めて、今後、幅広く呼びかけを行っていきたいと考えている。

10 資料（配布のみ）

- (1) 教育庁関連情報一覧
- (2) 算チャレ2019
- (3) 平成31年度みやぎ県民大学

11 次回教育委員会の開催日程について

伊 東 教 育 長 次回の定例会は、令和元年6月11日（火）午後1時30分から開会する。

12 閉 会 午後2時41分

令和元年6月11日

署名委員

署名委員